

### <金標準、依然と原油高：金利高に抑制された値動き・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領はイランへの再攻撃を湾岸諸国（サウジアラビア、カタール、UAE）の指導者に説得され、攻撃 1 時間前に停止している。そのため一時再攻撃のリスクを受け金標準先物は、一時 23403 円まで下値を試すも協議再開に向けたリスク緩和で下げ渋っている。しかしウォラーFRB 理事が講演で近い将来の利下げを検討するのは「正気の沙汰ではない」と述べ、FRB が政策声明から「緩和バイアス」を削除し、事実上、利上げの可能性も示すべきとの見解を示した事から、金利の上昇を受け、金利を生まない金は再度 23690 円まで下値を試している。特に現在は、ホルムズ海峡の閉鎖に伴う原油高の動きにインフレ懸念に伴う金利高で、金利を生まない金は虐げられた値動きを見せている。特に米国とイランの協議の動向に左右される値動きであり、23403 円を試す下値模索には注意が必要に思える。ただイランの管理下でホルムズ海峡から離脱する船舶が日々増加しており、原油価格が抑制される様であれば、一時的な下値追いは買い場の提供に思われる。

#### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が切り下げ、シグナルも切り下げている。RCI は短期が切り上げ、長期も下げ止まっている。特に日足が指数平滑移動平均線のレンジ内に移行しており、24300 円に向けた戻りに期待が高まると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,125,000 円(2026 年 5 月 25 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 106,920 円(2026 年 5 月 25 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>